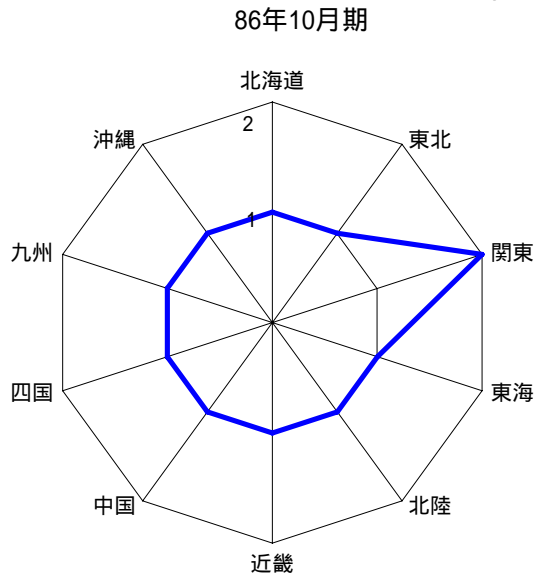
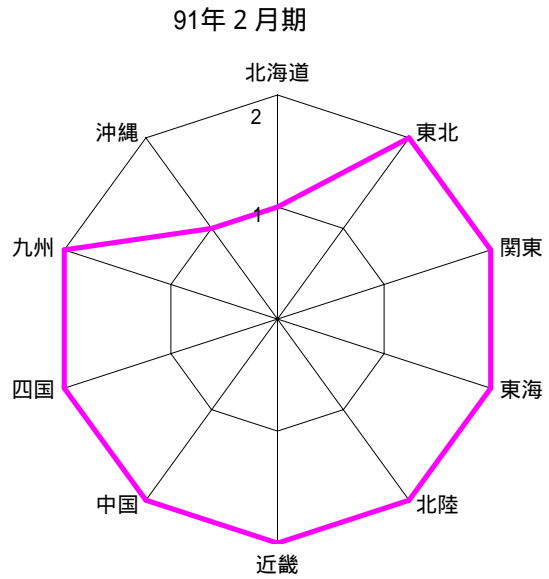


第 1 - 2 - 3 図 過去の判断レーダーチャート

( 1 ) バブル期

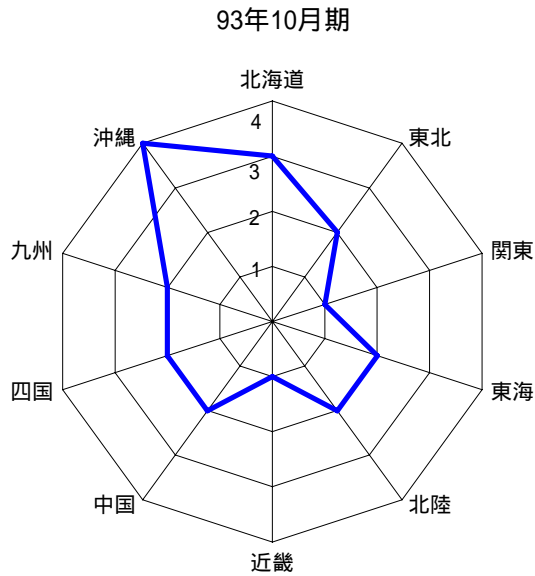


- 1 = 足踏み状態にある
- 2 = 底固さはあるものの、その足取りは緩やかとなっている

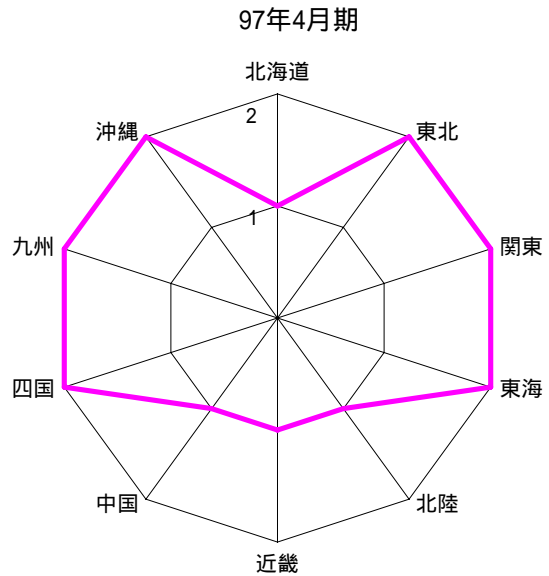


- 1 = 緩やかに拡大している
- 2 = 着実に拡大している

( 2 ) 90年代中ごろの回復局面  
- 景況感のばらつきが縮小 -

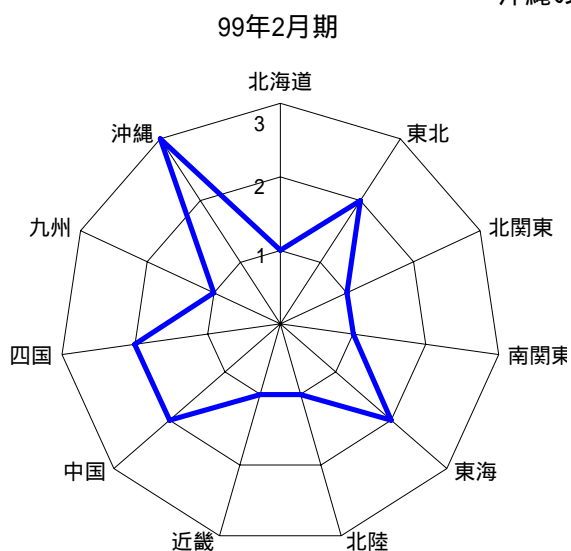


- 1 = 低迷している
- 2 = 総じて低調に推移している
- 3 = 回復に向けた動きに足踏みがみられる
- 4 = 底堅く推移する中で回復に向けた動きにやや足踏みがみられる

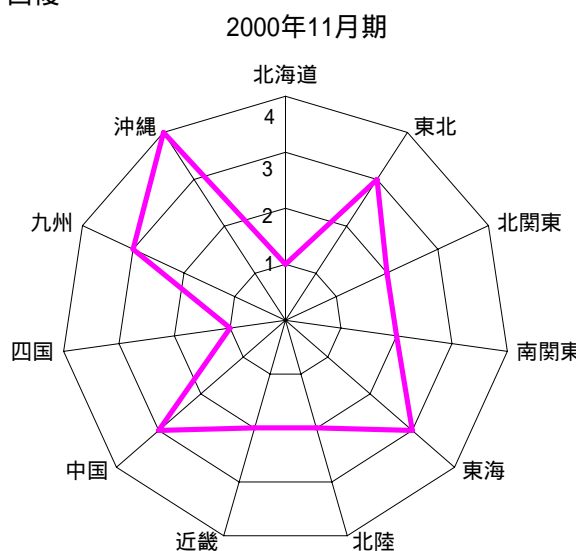


- 1 = 緩やかながら回復の動きを続けている
- 2 = 回復の動きを続けている

( 3 ) ITバブルの頃  
- 沖縄のみ回復 -

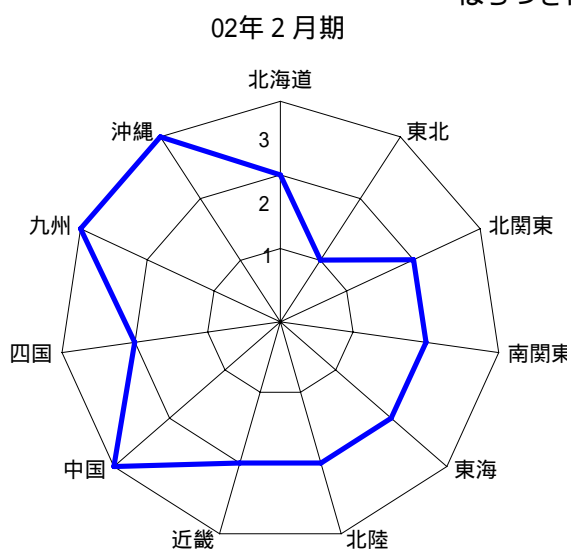


- 1 = 低迷状態が長引き、極めて厳しい状況にある
- 2 = 低迷している
- 3 = 明るさがみられる

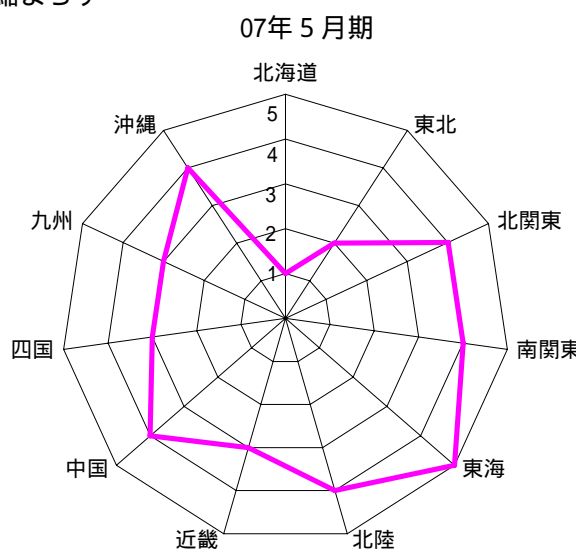


- 1 = 足踏み状態にある
- 2 = 緩やかな改善が続いている
- 3 = 改善が続いている
- 4 = 回復している

( 4 ) 今回の景気回復  
- ばらつきは縮まらず -



- 1 = 大幅に悪化している
- 2 = 一段と悪化している / 悪化のテンポが緩やかになっている
- 3 = 悪化している



- 1 = 回復が緩やかになっている
- 2 = 持ち直している
- 3 = 緩やかに回復している
- 4 = 回復している
- 5 = 力強く回復している

(備考) 内閣府「地域経済動向調査」により作成。